

2027 世界の花、横浜で咲かせよう！

～国際園芸博覧会の横浜における開催申請の準備を進めており、
開催期間は2027年3月～9月とします！～

横浜市では、平成27年6月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設（242ha）において、都市基盤整備の促進、地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の招致を推進しています。

現在、国際園芸博覧会の承認団体である「国際園芸家協会（AIPH）」の9月総会での申請に向けて準備を進めており、7月18日及び19日にAIPHの横浜視察を受入れ、申請予定の内容を説明します。

なお、開催期間は、機運醸成や上瀬谷の知名度の向上、PRの強化のため開催前年にプレイベントを実施することを考慮するとともに、「ガーデンネックレス横浜」との連動や、桜にはじまり、チューリップ、バラなどにつながる開花の時期を踏まえ、2027年3月～9月とします。

1 申請予定の概要

- (1) メインテーマ：幸せを創る明日の風景
～Scenery of The Future for Happiness～
- (2) 開催場所：旧上瀬谷通信施設地区（旭区・瀬谷区）
- (3) 会場規模：主会場 80～100ha
- (4) 開催期間：2027年3月～9月
- (5) 来場者数：1,500万人以上（見込み）

◆申請予定の内容は、基本的に「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想案」（平成30年3月策定）に基づいています。

◆基本構想案など国際園芸博覧会の横浜招致に関する詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

URL：<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shochi/>



土地利用ゾーン案と博覧会会場との位置関係
※土地利用については、確定したものではありません。

2 今後のスケジュール

AIPHからの開催承認については、年度内を目指しています。

その後、博覧会国際事務局（BIE）への開催申請や認定申請などの手続きが必要となります。

※AIPHの視察中の取材はできません。視察の状況がわかる写真データの提供は可能です。希望する場合は、直接お問い合わせ先までお知らせください。

【参考1】国際園芸博覧会

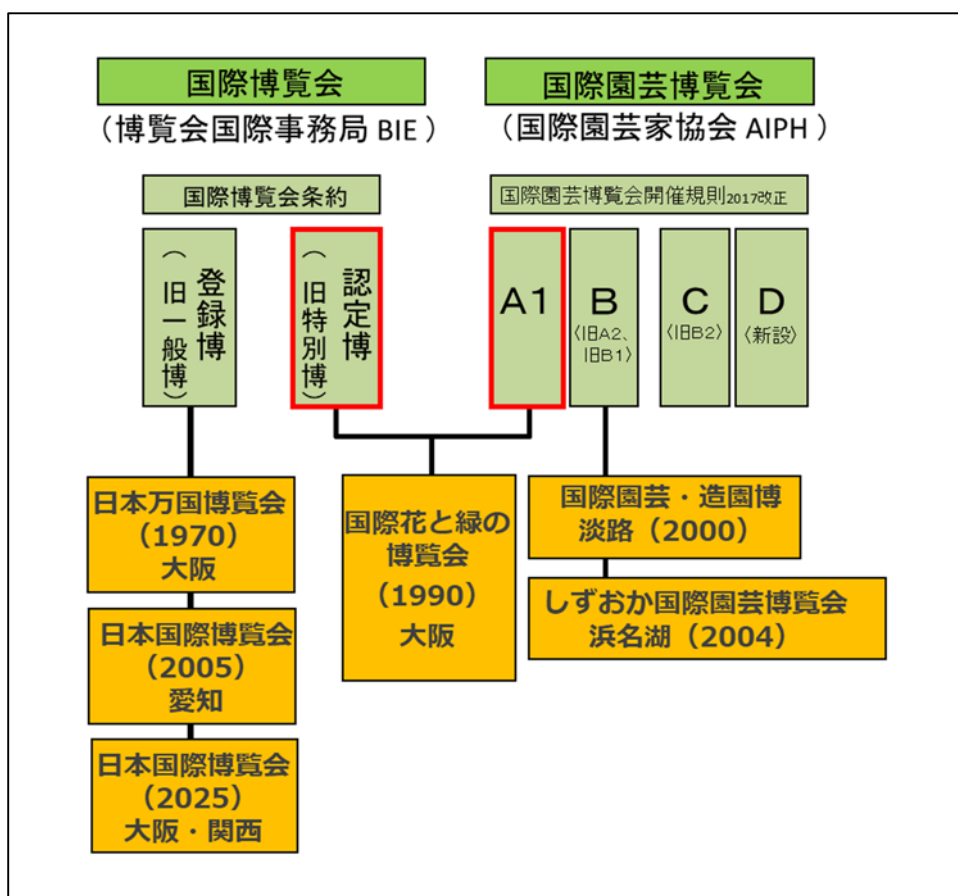
国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催される博覧会。横浜市が目指しているのは国家的プロジェクトとなる博覧会（A1クラス）で、国内では1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会（花の万博）」がある。

【参考2】国際園芸家協会（AIPH：International Association of Horticultural Producers）

国際的な非営利組織で、国際園芸博覧会の承認を行う主体。日本では一般社団法人日本造園建設業協会が会員。

【参考3】博覧会国際事務局（BIE：Bureau International des Expositions）

すべての国際博覧会の監督及び調整を担う政府間組織。A1クラスの国際園芸博覧会は、BIEによる認定を受ける必要がある。なお、BIEへの申請は政府が行う。



国際博覧会と国際園芸博覧会の種別

お問合せ先

政策局国際園芸博覧会招致推進課長 池上 省吾 Tel 045-671-4625